

笑顔満天

第 20 号

R5. 6. 1

【 発行 】

〒651-1621 神戸市北区淡河町神影115

児童養護施設 天王谷学園

TEL : 078-958-0302 FAX : 078-958-0346 URL : tennoudani.com

今年も梅雨の6月を迎え、ホタル狩りに行ったり、水が入った近所の田んぼのカエルの鳴き声に癒されたり、神戸市の施設でありながら田舎の施設のありがたさを実感しています。

さて、学園では4月に中学校に2人、公立高校に6人入学しました。そして、自立就労の子どもが2人卒園しました。当然辛い事、嫌な事もあると思いますが将来のことを見据えて自分の夢に近づけるよう頑張ってくれるものと信じています。

今年は新しく職員が4人入ってきました。児童養護施設を希望して入って来た新卒の職員には「初心を忘れずに」、先輩職員には「何でも相談することが出来る雰囲気作りに」、そして施設には「笑顔で子どもと接して、楽しみを見つけれれる、そして子どもの将来を応援している職場に」なれるよう頑張ってくださいと思います。

昨年度には法人でコンサルタントにも入って頂きこれからの施設の在り方を考える機会を作りました。課題は色々あってもやはりそれを話し合える雰囲気、コミュニケーションの機会が大切と言われました。最近はSNSが普及し携帯で情報を得ることが出来ます。先輩とのたわいもない会話の中から相手の考えていることを理解するという場面が少なくなってきており、これは職場の大きな課題として会話する機会を敢えて作る必要があると感じています。

保育園は10人の園児たちで賑やかな新年度を迎えることが出来ました。地域に根ざした保育園として、少しずつ入所もあり幼稚園とも連携しながら淡河町唯一の保育園として地域貢献が出来る様、職員も子ども達の勢いに負けないよう笑顔満点で頑張っています。小規模保育園がどんな保育をしているかまた見に来て下さい。

今回の「笑顔満天」も施設・保育園でのたくさんの行事を掲載しております。新しく入った職員の意気込みも入っています。たくさんの良い笑顔が満天です、これからどう変わっていくのか思い描きながらお楽しみください。

社会福祉法人天王谷学園 理事長 波来谷 徹生

<<新入職員紹介>>

高阪 美起子	4月から新しく職員となりました、高阪です。子どもたちと共に生活していく中で、1人ひとりの個性や良い所を多く発見できたら良いなと思います。また子どもたちにとって一番良い支援は何か、職員として子どもたちに何が出来るのかを考えながら関わっていき、良い関係を築いていきたいと思っています。
仲 紀帆	4月からお世話になっております仲です。子どもたちと一緒に生活していくに当たり、子どもたちと同じ目線・立場に立って、頑張らないといけないことや、楽しいこと、嬉しいことなどを沢山共有していけるような職員になりたいと思っています。また、そうした中で子どもたちそれぞれの個性や長所を見つけ、信頼関係を築いていきたいと思っています。
青木 聖奈	この4月からお世話になっている青木です。子どもたちと共に生活をしていく中で、1人ひとりの個性や長所をたくさん知っていききたい、見つけていききたいと思っています。また、その強みを様々な場で活かせるようお手伝いをしたいと思っています。普段の生活や行事などを通じて、子ども達と良い信頼関係を築いていきたいです。
松井 咲子	1月からお世話になってる松井です。私は、素直に聞く心や謝る心、ありがとうと言える心を大事にし、子ども達と一緒に成長していける職員に、そして子どもの変化に気付ける職員でありたいと思っています。子どもの言動一つ一つに意味があると思うので、丁寧に接していける職員になりたいと考えています。





1F フロアレク

幼児さん、小学生の子どもたちと一緒に、播磨中央公園に行きました。長いコースのあるサイクリングや、変わった漕ぎ方をするおもしろ自転車、水遊び場、動物園やアスレチックなど様々な遊ぶ場所があり、普段体験することはない貴重な体験を多くすることができました。子どもたちはみんな夢中になって全力で遊んでいたため、帰りの車内でほとんどの子が疲れて寝ていました。たくさんの笑顔が見られた、楽しい一日でした。 (高阪)



女子棟 フロアレク

あっという間に5月になり、温かくなってきましたね。子ども達も新しい学年や生活に少しずつ慣れてきた時期だと思います。さて、5/6(土)は女子棟のフロアレクの日でした。場所はフルーツフラワーパークと有馬温泉の散策を楽しみました。フルーツフラワーパークでは、遊園地や猿回しを観覧し、個々それぞれ楽しそうに過ごしていました。



有馬商店街では、全体的にレトロな風景が広がり、お土産屋さんや飲食店に喜びの良い笑顔がたくさん見られる1日でした。(松井)



5月某日、木々の緑がまぶしい季節に欠かせない一大行事のBBQ!!と、言うことでYフロアリーダー率いる職員3名と中高生男子6名のフロアレクに行ってきました!前日まで心配していた天気にも恵まれ、美味しいお肉をお腹いっぱい食べました。みんなで協力してコンロや食材、道具の準備をしてから薪割りをして、煙と格闘しながら炭に火をつけて・・・自分達で焼くお肉の美味しさは格別で、貴重な経験だったことでしょう!! (富田)



中高男 フロアレク





今年度のクリスマス会では子供たちが伸び伸びと出し物をする姿が印象に残っています。その中でも特に中学生男子の「コント」がすごく印象に残っています。普段大きな声を出して生活しているイメージがない子ども、コントをしている時はすごく大きな声を出して職員と一緒に楽しそうな様子でした。その姿だけで大きな笑いが生まれていました。またコロナの関係で前年度までは来賓の方の来園を控えていましたが、今回のクリスマス会では、たくさんの来賓の方々が来て下さりすごく賑やかなクリスマス会になりました。

(廣田)



この度学園から2人の子供が進学と就職で卒園する事になりました。その中で1人の男の子は高校生から大学生へ進学する事になります。不安なことがあると日頃からたくさん話を職員に言っていました。不安も楽しみの感情が心にたくさんあり、今から頑張ろうとするその姿はすごくかっこよく見えました。その姿を見ている在園児は暖かく微笑ましい送りだしをしてくれました。終始雰囲気の良いお祝い会になり、素敵な1日でした。

(山本)



新年度に入り、初めての全体行事で岡山の駄菓子屋と岡山ノースビレッジに行ってきました。今回行った駄菓子屋は日本で1番大きい駄菓子屋と謳われる場所で、子ども達はすごく楽しんでいました。ノースビレッジではゴーカートや動物ふれあいコーナーなどで時間を過ごし、最後には芝滑りで小学生から高校生まで楽しんで遊んでくれました。「またいきたい!」と言う声も多く、新担当とも絆を深めることができる素敵な1日になりました。

(山本)





今年度淡河中学校を、男子3名、女子3名の計6名の児童が卒業しました。卒業2カ月ほど前からカウントダウンカレンダーを作り、みんなで卒業を数え当日を迎えていました。式では3年間の課程を終え人生の一つの区切りとして新たなスタートを切ろうとする卒業生の姿にとても感動させられました。式終わりには、外で先生やクラスメイト達と仲良く写真を撮る姿が見られました。それぞれ高校という新たな場所でも淡河中生らしく頑張ってくださいです。(廣田)

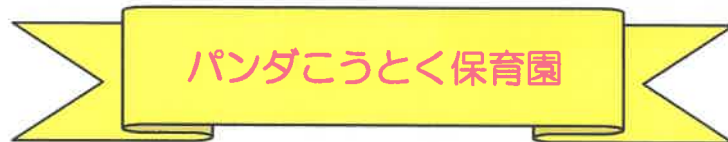


入学おめでとう

4月11日(火)、中学校の入学式がありました。学園からは女子2名が入学しました。出発前、新しい制服に袖を通した子ども達はやや緊張している様子でした。式では1人ずつ名前を呼ばれ、壇上に立つ場面もありました。新しい友達や担任の先生との出会いもあり、不安や期待など様々な思いが混ざった一日になったと思います。勉強や部活、新しい仲間との充実した日々をこれから過ごしてほしいと思います。(青木)

お心遣い有難うございました

P&Gジャパン(株)、(株)チュチュアンナ、岡本(株)、(株)沖縄タイムス社、三宮人街づくり協議会(夢未来号)、長尾自動車、日本鏡餅組合、(株)神戸スイーツポート、(株)みの屋、神果神戸青果(株)、フィブイントラロジスティクス、全国シャンメリー協同組合、中国酒家、協同食品(株)、神戸市社会福祉協議会、みらいこども財団、心Reborn協会kayamado、(株)日本ネットワークサービス、北区社会福祉協議会、フレーベル館、湊建設、(株)アステップ、イオンファンタジー、善意銀行、(株)デンソーテン、ネスレ日本、トレカで子どもを笑顔にする会、(株)ニガキ、(株)Daska & Desiree、(株)YES(餃子の雪松)、神戸こども食堂ネットワーク、(有)ジャーマン・ホーム・カリー・ハウス・アドリブ、日仏商事、ドミノ・ピザ、イールート、(株)リスト・リヒデ、イケメン大集合、ディーオー、(一財)神戸市学校給食会、つるかめ管財(株)、日本児童養護施設財団、大島剛、塩谷みさ、長田数子、深堀隆、広瀬俊道、岡田礼子、岸本祐宜、内藤彰信、庄司利恵、堀哲雄、中奥信多加、松本千鶴、小鯛竜也、九鬼由恵(敬称略、順不同)



令和5年度は、マスク生活から解放され子どもたちとも表情豊かにコミュニケーションを取れるようになりました。コロナ前の元の生活に戻ることは難しいですが、園の保育理念である、『恵まれた自然の中で“子どもの最善の利益”とは何か、“心身ともに豊かな葉をつけ



木になるための大切な根を育てる”』を心にとめて職員一人ひとりが子どもの姿から学ぶこと、楽しむことを大切にしながら保育活動を行っていきたいと思っています。

また、保護者の方と一緒に子どもの成長を喜び支え合っていき、そして、地域の中でなくてはならない存在になって行けるように、みんなで喜び、楽しんで、笑顔いっぱいの一年間にしていきたいと思っています。(安井)

